

【電報】華盛頓會議に於て締結せられたる開港條約は今回  
 越後より鶴岡後直に御許誠を經五日、越前に御署名  
 給はれ、越前を直に華盛頓に送り、英米例をはじめ、其他  
 諸國出づる次第何時にても、越前の寄託を許し得る事となれ

國際海員會議宣言

蜀新聞亭止一百余

改符軍討荒夫之戰

コ氏獨裁政治に反對

これを拒絶し獨裁政治に反對を暗示したり

唐氏閣案國會裁決  
衆大總統は五日朝川和嶺内閣同意案を國會

張作霖氏の復讐設計は、蘇表前に現れ、來日した張氏は、一個師を率ひて館陶に侵入し、西路の漢金綫は二個

【西四月滄電】日本軍の西伯利亞撤兵と同時に小幡公使は、  
居留民の保護方を支那政府に通告し置きたるが、外交部

吉 林 混 成 旅  
 職 運 動

軍監護軍太尉

行機自動車取  
否麻論に分れ證地混亂將

取締り巡査を養成する爲  
二百名を選抜し各百名宛五反  
の農地を配付し、(一)地主の意思を尊重し  
的經營方針を採ること(二)

阪師團  
車馬費  
朝鮮館長和記念東京  
總

大坂城内に於て薨逝に附せら

常根拠あるもの、如く反對官  
 鐵治線にまで及び来り、同所を  
 與へざるものはないの

議場混亂を極む  
日本勧業銀行にては五  
の千餘圓は殆ど銀約済と  
銀行は僅に十兩の銀約十

特別設立金百六十萬圓及び後に達すも朝鮮産業生産物

後、翌年第一期當に困難を感  
ずるが如き様なきを確信すと云へり  
製造臨輸人計畫

給食は二億五千万の外にして全  
 牛乳に過ぎざる状態なり東拓  
 會場内第一の食堂でも

縮小狀況を調査し、將來展望を照帶して、  
 現在の小量生産より漸次擴充して、  
 生産組織に押し進むべしと云ふ

電 燈

地に於ては相當大量の需要あり  
又日本朝鮮地に於て百万二十  
萬を越へつゝあるも關東州本  
最近の續き二回まで長

山王徳氏談  
是せざるべからざる重大使命を  
責任免除口實ともなる  
来ること或は不可抗拒

内地の最劣等米か若くは外國米  
に供給して居るのである。而し  
此基羅雨といふも一二重

日本は品質に於ても齊富に於ても、  
十數年の始政當時に比較すれば、  
其の差あるのである。茲に於て、  
等であるところが世の  
之を會社體に質服

「東京電報」

時の朝鮮米玄米と白米と十一種の  
 品種の玄米と其白米と各頭の檢  
 査して宮内省に呈上する

に就斷固敢内難にして費察者も大に  
憂慮しつゝあり、最近内能平を神  
しれる者の説に北極杖として未  
だ人陣の導らざる所多く紅松模範は  
シ、思想の高唱され  
ば民衆にそれ倣  
同等の意義を爲さ  
は露れり

京城府の

水道

地を涉<sup>へ</sup>りて遂に  
臨津江上流

當 局 著 談 二

電線を引張る といふことの  
府當局の著

樹木を植ないでも限らないソコで結も費用市價（金樹山）に比し約三分の一

には會社は相當賠償の責を免れまい  
し普通としては  
年々一定の數據拂ひ  
者少からず總督府に

が、國最初の試みの好況を以て直に米

行くに就き町の發展上此の地位を町にするも徒らに品質を下げ安くく縣當局に交渉を開始し販路を失ふ恐れある

朝鮮米葉有望  
戸籍本座にては背島支店を通じ  
關東東より毎年約三十萬貫の山販  
粟の搬ひ下げを受け居れるが搬下  
費一石一匁に於て一匁の差を以て

高野樹藏(愛の種)  
大泉黒石老

振替東京  
大坂  
電話六八〇

にて平均四圓樹に當り之れに運賃係りを加ふるも縣下方面の市價に

朝餉米葉は歐米市場に紹介せられ  
より日浅く其名聲稍山東葉に及ば  
三車湯温泉出地ヨリ  
位置アリ

に敷へるゝに至るべしと

府協議會決議  
機關運動

機關たるに過ぎざる府縣議會を次  
機關たらしむべく運動を爲す筈な  
るべし

公債  
組屋上

別著回

なした其主なる原因は米の輪移出  
少したると鮮魚海藻等凡て減退し  
て甚るものなりと云ふ也

**債**

三八七  
六十九  
八十三  
右大  
多

秋開催の舞臺準備二十五年前念  
易品展覧會は目下著々準備中なる  
女親節よりは約三千名出祝の豫  
めりちへとる、な

野上文學博士 五日夜元山より入  
朝鮮ホテルへ  
川越茂氏 (外務省書記官) 五日

# 夏之季

## 夏の修養

夏の下如何にわが身を鍛練すか。社長の訓示に於て、夏は修養の季節と云ふ。修養とは、心身を鍛練する事である。夏は、自然の力が最も盛んな季節である。この力を借りて、心身を鍛練する。夏は、自然の力が最も盛んな季節である。この力を借りて、心身を鍛練する。

## 夏の旅行

夏の旅行は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。夏の旅行は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。

## 夏の読書

夏の読書は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。夏の読書は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。

## 夏の生活

夏の生活は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。夏の生活は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。

# 職業

## 試験問題

試験問題は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。試験問題は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。

## 試験問題

試験問題は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。試験問題は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。

## 試験問題

試験問題は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。試験問題は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。

## 試験問題

試験問題は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。試験問題は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。

# 電波

## 電波

電波は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。電波は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。

## 電波

電波は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。電波は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。

## 電波

電波は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。電波は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。

## 電波

電波は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。電波は、心身を鍛練するの最もよい方法である。自然の力を借りて、心身を鍛練する。



『獨逸は自然の繼子である』  
興味ある兩國民性の研究

然則其狀に上り坐るの趣は所を、微聲が眞面目で月明夜であると言ふ  
被服の形に配つて居ると言へばこれこそは、秘蔵の珍寶さうな稱讃さう  
ある。廻り廻覧のみは如御なるばかりでありながら此の土地に居る處で  
職能も、幸へ却仰る暇道にも人の心は、悉く口を揃へて之を讃え

ある。然し第六日ではは師尊の手紙  
である。貼附した影絵娘奴奴に

石井と刺違へて

[illegible]

自分が殺したも同様だ

と兄の後を趁ふて人道橋から



有利か論するまでもない  
帆足理一郎教授來鮮

[illegible]

貴軍の全國大會の優勝を祈  
仁商應援旗を勁敵京中に贈

中世ハ勝算の一美訓

平壤——東京間大飛行  
民間飛行家石橋勝浪氏來る

飛ぶ／＼飛ぶとして一時大逆の人士を  
殺せしむるも、飛鳥失脚に墜ちて、  
行方石碯、浪氏は、此來東國に軍  
に在るは、人々を誑かすは、此の由に  
て近代の人は、皆不韙の權辭を以て  
慥れて語つて、世の世の世々から  
もべからずと、飛鳥の氣流をば、益々  
安部、源氏、の氣流に、歸して、殺  
した大坂軍報

ル、チッ、と、用ふるに、  
五日、主務館に、使、用、  
した大坂軍報

九江動亂に  
須磨派遣

總督府でも

# 規約貯金

二百四十

人の忠節に本心の本意を以てして  
 居たのか、平生は陰りがないで  
 不潔なに過しなかつた、誠實な  
 人に氣遣ひを要するものゝ人、一  
 の努力と戦ひとを以て自居する  
 のであるが師範の手裏剣にて其  
 の榮耀は少しも損れなかつた。  
 本人は自己の職を以て自居の  
 人にも思はれる、その人の襟  
 元には

大正四年四月午後四時  
 府内の

檢病戸口調

霧ヶ浦で  
雲ヶ浦で

は孰れも赤銅と説詠離陳といふ

バルフオク 飛行動機落奈島  
大尉即死した(東京朝報)

**世界一週**

飛行機來る  
世界一周飛行の途程に當り、先づア  
ラビヤ佐は發動機故障の虞め甚だフレ  
間已てなきに至りた。尚爾前日、開  
行の日を二月二十一日午後五日の予定  
日目的は陸地を浦であるといふ（アンバ  
ラインド）

菅沼平松兩氏  
死體水  
家に泊中にて今夜八時許に  
未定である。

で火葬し附した金澤市消防

貴軍の全國大會の優勝を祈  
仁商應援旗を勁敵京中に贈

中世ハ勝算の一美訓

ものが有つたり戦ひ終り京中が  
の優勝旗を受けんとするや、最  
を送りし度いと、五色の大

努力を以て戰勝を得なかつた  
仁龍殿は戦後一宿は涙の中に寢る  
人々は散々に涙を催さる  
に體育師に於いては此の  
して表露の力を研究中で

ハアルファ第七  
満鐵最後の猛

朝鮮王能法政疎遠第二回戰は五日午後五時から、京中グラウンドに於て蹴六の部戦となり、夕陽は近き所から再び勝ち得るか何うかは球王の非常な興味となり密着を遂めた。

神域を穢す  
女房の劇薬自

第二、(薩越)一法政系員連同正田中飛死脚并内閣ヲ滿額閣下ニ而野林田三郎に懸る御手小西遊遊に於て原由生造吟島遊遊致政

第三、(阿波)一法政活字組中飛死脚并内閣球花本羽飛死脚並二間安達生還被殺飛遊字組墨校に消し復生被殺飛遊字組

此澤太腹内蔵の基根木々々。一日午後八時半安達被殺飛遊字組を載し沙龍中に入り然らず一命には難免なり。是は夫和蘭の號就が總さぎめ抵低目をしたらちもべしと(新嘉坡)

陽明郡嘉島面東豊黒里七十五番  
植方師の漢江沿岸に墾留中位  
於いて廣州郡生れ鄭某(鄭)の

[illegible]

記念品贈呈  
水野松永氏

[illegible]

金側時計を窃む

[illegible]

秋田氏令弟逝去

[illegible]

阿倍	野村	山口	米原
根谷	財津	中島	應河
二	二	〇	三
三	三	三	〇
杉田	三島	三島	寺田
三	三	三	三

備口なし  
 便所掃除業  
 昨年の今頃神戸川崎造船所に我國米  
 倉有大の勞務紛争騒動發生し三萬の勞働  
 者は四旬に餘る間を焚天下に極き困  
 米原 藤澤 一三島  
 上村 長閑 一三島  
 小尾 明田 一三島  
 川端 岸川 一三島  
 三木 永元 一三島

[illegible]

鯨 鯨尾羽 鯨間屋 物品 買次  
 職業 一 年 生 徒  
 都の 村  
 内科 科

川北モートル

品質よし  
能率よし

使ひ易し  
値段安し

川北電氣京成出張所

時二、振響四八四六  
 香 月 商 店

一國以上三國（特約）  
 安売記で判入スウ出来る内惠約  
 休見ル本局付新郵票千紙を要す  
 秋分迄送込出町二五五番  
 番町四丁五番七平井商會

石川醫院  
 石川醫院

石川醫院  
 京城本町一丁目

# 朝鮮信託

◎營業科目

- 信託金
- 信託債
- 信託預り
- 代理買賣
- 其他一切付託
- 其他一般信託案

●營業案內進呈

株式會社

京成明治一電九番九  
 仁川本一電三番九

仁川山手町  
 立府  
 仁川  
 病  
 院  
 電話  
 事務用  
 六番







